

令和 4 年度第 7 回立川市生涯学習推進審議会 会議録

開催日時 令和 5 年 2 月 14 日（火曜日） 午後 6 時 30 分～午後 7 時 50 分

開催場所 立川市女性総合センター（アイム）5 階第 3 学習室

出席者 [委 員] 倉持 伸江 会長 檜崎 茂彌 副会長 大槇 正則 委員
柴 香里 委員 梅田 茂之 委員 竹内 英子 委員
難波 敦子 委員 宮本 直樹 委員 岩元 喜代子 委員
杉浦 早苗 委員

[事務局] 立川市生涯学習推進センター長 庄司 康洋
同 管理係長 新藤 博
同 管理係員 大須賀 雄大（記）

傍聴 0 名

次第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 協議事項
 - (1) 令和 4 年度第 5 回立川市生涯学習推進審議会 会議録について
 - (2) 立川市第 7 次生涯学習推進計画について
4. その他
 - (1) 立川市教育だより「たち」1 面掲載のご紹介
 - (2) 砂川学習館／地域コミュニティ機能複合施設の整備について
 - (3) 国宝「六面石幢」修理、移設事業について
 - (4) 菅山委員の退任について

配付資料

1. 令和 4 年度第 5 回立川市生涯学習推進審議会 会議録（案）
2. 立川市第 7 次生涯学習推進計画スケジュール（案）
3. 国宝「六面石幢」修理、移設事業について
4. 砂川学習館／地域コミュニティ機能複合施設の整備について

会議内容

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 協議事項

(1) 令和 4 年度第 5 回立川市生涯学習推進審議会 会議録（案）について

（会 長）事務局より説明をお願いします。

（事務局・管理係長）資料 1 です。事前に確認をお願いしておりますが、1 か所誤字がありました。それ以外はございませんでした。この会議が終わるまでにご意見が

なければご承認いただけただけということでホームページに公開させていただきます。
(会 長) ありがとうございます。お気づきの点や修正点はございますか。(なし) 第 6
回は歴史民俗資料館に訪問しておりますので、議事録なしとなっています。

(2) 立川市第 7 次生涯学習推進計画について

(会 長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局・管理係長) 資料 2 をご覧ください。第 7 次生涯学習推進計画の策定に関わる
議題となります。本格的に開始するのは来年度となりますが、令和 5 年度と令
和 6 年度の主な議題となります。概要について、現段階の構想といいますかイ
メージをご報告します。資料 2 の 2 段掛けになっている表の上段が令和 5 年度、
下段が令和 6 年度と 7 年度のものとなります。表が 3 段に分かれています、
上段が生涯審の開催時期です。中の数字は会議の開催回数を表しています。中
段は生涯学習推進計画の動き、下段が長期総合計画の動きを表しています。こ
の計画策定に係る最初の取り組みは、上の表の真ん中市民アンケートとなりま
す。10 月にアンケートを行う予定なので、その前に皆様にもアンケート内容
をお示しいたします。過去の推移を把握する目的もあるので、アンケート内容
はおおむね前回と同様のものを想定しています。その結果を受けて、生涯審で議
論が開始されますが、年明けの 1 月頃に諮問を受けて、令和 6 年度も含め全 8
回ほどで答申の提出まで進めていく流れを想定しています。この諮問・答申は
計画の方針ではなく、計画そのものに近いので、細かい部分の協議が必要にな
るかと思えます。協議の具体的な方法としては、生涯学習推進センターで議論
した内容を皆さんにご提示しながら、追加、削除、修正等のご意見をいただき、
計画案を作成していくこととなります。計画の大まかな方針としては、生涯学
習推進計画は長期総合計画の個別計画という位置づけになりますので、方針や
足並みは長期総合計画に合わせる必要があります。そのほかにも国や都の生涯
学習に関する審議会等で方針が示されることがあれば、計画に盛り込むことも
検討していくこととなります。これらのことからあまり早く議論を開始しても
方向性が変わってしまったり、コロナが 2 類から 5 類に引き下げられることも
あって、動向を把握してから検討を開始したいので、このようなスケジュール
感となっています。答申の提出後は、生涯学習推進本部という内部組織にかけ
て素案を作成し、令和 7 年度に入ってからパブリックコメントで市民の方から
も意見を頂戴して、令和 7 年度の 7 月頃に策定となります。大まかな流れは以
上となります。だいたいの話になってしまうのですが、5 年に一度の大きな議
題ということで、このタイミングでお話をさせていただきました。詳細につき
ましては、決定次第、随時ご報告させていただきます。

計画の話からは少しずつしてしまうのですが、資料 2 の表もお手元にあるので、
お話をさせていただきたいと思うのですが、来年度の 1 回目と 2 回目は現在、
議題が決まっていない状態となっています。そこで事務局からのご提案として、
1 回目で中規模改修工事が終わって、きれいになっているので錦学習館の視察
に行くのはどうかというご提案をさせていただきます。歴史民俗資料館ほど見

るところはないため、お時間が余ると思いますので、学習館の会議室を利用して、第2回で話し合う議題を決めるのはどうかと思っています。2つのお話をさせていただいたので、それぞれご意見があればお願いいたします。

(会長) ありがとうございます。協議事項2は計画についてと令和5年度1回目と2回目についての議題と両方含まれていたのですが、第7次生涯学習推進計画に向けたスケジュールや段取りについてご質問等ありますでしょうか。第6次生涯学習推進計画に携わった方ならご存知かと思いますが、大きな方向性と細かい文章含めて検討していくことになりますので、令和5年度後半から令和6年度にかけて議論していくことになります。今回の委員さんの任期は令和6年の3月末までなので、計画の開始の入り口のところまでが今期の委員としての役割となります。いかがでしょうか。(なし)

(事務局・管理係長) 補足となりますが、例年行っていたいております計画の進捗評価は9・10・11月頃に同時並行で進むようなイメージでおりますので、引き続きよろしく申し上げます。

(会長) 続いて、第1回、第2回の審議会の進め方について、何かご意見等ございますでしょうか。第1回目の錦学習館ということですが、見た目はライトが明るくなったのと壁が白くなったのはよくわかりました。視察というか、見学はすぐに終わってしまうと思いますので、追われるテーマがないこのタイミングで何か定めて、皆さんと意見交換をしてもいいと思います。事務局の提案では、第1回で話し合うテーマを決めるのはどうかということでしたが、今日の段階で話し合ってみたいテーマ等あれば、まだ日にちがありますので今日決めてしまうのもいいかと思えます。

(A委員) 錦学習館というと隣が児童館ということで協働事業を行っていると思いますし、プレ錦まつりで学生さんが中心に活躍されているので、学生さんとの懇談会というのを企画してもいいかと思いました。時期的に難しさもあるかと思いますが、経験された学生さんのお話を聞いてみたいです。この前の研修会で発表していただきましたけど、短い時間の発表だけだったのでじっくりお話を聞いてみるのもいいかと思えます。

(会長) ありがとうございます。隣に児童館があるので、いろいろな情報交換や物のやり取りもさせていただいています。お願いすれば出席していただくことはできるかもしれませんね。

(事務局・センター長) そうですね。地域運営協議会の委員さんにもなっただけなので検討の余地はあるかと思えます。

(会長) 学生の方は久しぶりに対面でプレ錦まつりを実施したので、そのときの報告と反省をさせるのもいいかと思えます。他にご意見ございますか。

(B委員) どこかで時間が取れたらと思っていたことがあって、ブロック研修会のグループディスカッションの中で出てきた、「あきしま会議」の内容が気になっていて、新聞にごみ拾いのボランティアをしている高校生の記事があって、日本からアフリカに送られた衣類が大変な状況になっているという提案もされているようです。若い者を見守っていくような団体か組織があったと思うのですが、そこで活動し

ていた高校生が大人になって、社会的な活動につながっているということだったので、あきしま会議の構造を具体的に聞いてみたいと思いました。小学生や中学生も一緒に取り組んでいるので具体的にどのように活動しているのか知りたいと思ったので、時間がとれるようなことがあったら企画していただきたいと思います。

(会長) あきしま会議は昭島で活動している様々な方に来ていただいて、自分の実践を報告するという交流の場なのですが、若い方も参画しているというのが特徴でもあるので、あきしま会議全体のお話と若者の参画という部分に絞ってお話を聞いてみるのはいいかもしれないですね。立川市も青少健などが機能しているし、中学生の主張大会にこの審議会から審査員を出して社会教育の観点から大人が関わっていますので、立川市も特徴的な取り組みを行っていると思います。ただし、あきしま会議は直接的に参加し合えるというのが特徴的かと思います。他にいらっしゃいますか。

(副会長) 柴崎だけがそうなのかもしれませんが、地域学校コーディネーターの活動がよく見えないというのがあって、地区によってはうまく機能しているところがあるようなので、そういうところに来てもらって、どのようなことをされているのか、それぞれ地運協ごとに活動が違っているし、学社一体を掲げていることもあるので、企画していただけるといいと思います。

(会長) この間西砂学習館で行われた交流会でも地域によって、関わり方や関係性が違うということがわかって盛り上がった気がするので、改めてこの審議会で整理するのもいいかもしれないですね。学社一体の話は次期計画にも引き継いでいく可能性が高いはずですから。

(A委員) 地域学校コーディネーターについて、生涯審と一緒に懇談会や研修のような座学があって、学習館ごとにテーブルを囲んでコーディネーターさんとセッションできれば、そこから何か生まれてくる気がします。

(会長) さらに発展的なご意見になります。地運協の委員さんと地域学校コーディネーターさんということになると交流会のようなイメージに近くなりますね。準備に時間を要することになると思いますが、内容はとても意義のあることだと思います。

(A委員) 今まであまりにも直接的なコネクションがなくて、どのように進めていけばいいかわからない状況にあったと思います。

(会長) お互いバラバラに協議していますから、一度全体で顔を合わせる機会があってもいいかもしれないですね。会議でというよりは少し規模が大きくなると思います。

(C委員) 学校の校長先生や学校関係者の方にお目にかかりたいです。

(会長) 確かに先ほどの話にも学校側の方もいないと足りないですね。そうすると規模感が問題になりますが、アイデアとしてはいいですね。

(C委員) 何かお手伝いしたいことがあっても迷惑かもしれないという思いもありますし、お会いしたことがないので会ってみたいです。

(会長) それぞれ重ね合わせた交流会や研修会にできると立て付けとしてはいいですね。

どこかがどこかを真似するというよりは。

(D委員) 私は西砂学習館の地運協の委員と七中の地域学校コーディネーターを拝命して
いまして、地運協は毎月 2 時間半くらい様々な意見が出るというボリュームと比
べると、地域学校コーディネーターは一切そういったことがありません。手探り
で試行錯誤をしながら学校の先生とやり取りをしている現場を見ていると、急に
顔を合わせてもコーディネーター側が論理立ててお話しをできる段階ではないと
思いますし、自分自身でもそう感じているところです。可能であれば、コーデ
ィネーターはコーディネーターだけで教育していただく場を設けてから配置してい
ただくような段階を踏んで、先ほどのような会を設けていただくと充実したもの
になるかと思います。

(会 長) 貴重なご意見をありがとうございます。このタイミングでプレッシャーを与え
てはいけないと思いますし、慎重に検討しないとイケないですね。意義のある会
だとは思いますが、慌てすぎないことも大事ですね。

(D委員) 次年度は先ほど申し上げたような形で成長して、学社一体の役割を自覚できる
ような段取りを踏んでいただけたらいいかと思います。

(会 長) ありがとうございます。

(A委員) この会議でも過去に触れていたかもしれませんが、コーディネーターさんに任
期はあるのでしょうか。

(D委員) 3年です。

(A委員) 3年ですね。皆さん、同時に変わられるのですか。

(D委員) いいえ、違います。一斉に任命されてというものではないです。

(A委員) それでは、4月が変わってしまう方もいらっしゃるかもしれないということ
ですね。

(D委員) 今年は統括コーディネーターが設置されたので、一般のコーディネーターの教
育というようなものもしていただけると、一段と役割が明確になってくるかと思
います。

(会 長) 統括コーディネーターの方からお話を聞くのもいいかもしれないですね。あり
がありがとうございます。皆さんのお話を聞いて、計画を立てるまでにやってもいいか
なと思ったのが、職員のコーディネート力の育成が現計画でも重要と言っている
割に進捗評価ではあまりよくないというのもあって、どういう形が職員のコーデ
ィネート力の向上につながるのかを職員さんも交えて議論できたらいいかと思
いますので、それも一つの案としていいかと思います。

(B委員) 今まで学芸大で研修をされてきたと思いますが、研修に行った人は立川市の
中で研修会を開いて、点を広げていくという取り組みについてはどうなのか、研
修後の実践というのはどのようなものがあるのかというところが見えないと思
いますので、情報としてお聞きしたい部分です。

(事務局・センター長) 今のお話のとおり、還元したり、他の職員に展開したり、意見交
換したりというところできていなかったものですから必要性を感じています。
全員が研修に参加できればいいのですが、予算や配置のこともあって、それは難
しいので参加した職員が還元していくことが大切かと思います。

(会 長) 私としても来ていただいている中で、効果的な検証ができてないというところが反省になりますので、研修に参加した職員さんから参加してみてどうだったかとかご報告いただく機会があってもいいかもしれないですね。もう一点は、各学習館に Wi-Fi を設置しましたが、それがどの程度活用されたのか、活用されようとしているのかというところが未知数ということもあって、この前行われた東京都公民館研究大会で私が参加させていただいた分科会のところで、指定管理者がオンラインを上手に活用しているお話があって、講座をコンテンツ化するだけじゃない観点がありますということをおっしゃっていました。それをみなさんとシェアしながら学習機会の裾野をどのように広げていくのかということ意見を交換してもいいかと思いました。

(副会長) A委員に実践してもらおうのもいいですね。

(A委員) 自治会連合会としてはハイブリット会議を行うのに活用させていただいています。本来、この会議は本庁で行うのですが、Wi-Fi がないので幸学習館を借りて行っています。そのほかではどのように利用されているのか気になります。

(会 長) 利用実態を収集してもいいですね。来年度の6月で一年経ちますので、申請数はカウントしているかと思えますので、確認してもいいかもしれません。ありがとうございます。いろいろ出ましたが、全部はできませんので、すぐにできそうなものと、とても重要なものと取捨選択しながら来年度の前半に意見交換を行いたいと思います。事前にテーマをお伝えして、情報提供とかご意見とかあればご準備いただくのがいいかもしれないですね。その場で急にお題を振られても難しいかと思えますので。

(D委員) 前は歴史民俗資料館に行きましたが、その前に第6次生涯学習推進計画の進捗評価を行いました。それは前々回で終わって、今後どのように活かされていくのでしょうか。

(事務局・センター長) 我々の反省点なのですが、評価をしたままといいますか、フィードバックができていなかったというのが実態としてありました。評価表の欄に、「前年度の評価に対する取組」のような項目を設けまして、その経過をわかるような形に変えていきたいと思えます。

(D委員) その内容が第7次計画に関わっていかないと評価した意味がないと思っていました。

(事務局・センター長) P D C A の C までで終わっている状況となっていて、アクションの部分できていなかったかと思えます。評価したものを意識して取り組んできてはいるものの、皆様にお見せする形では行ってこなかったというのが実態です。

(D委員) あれだけ力を注いで取り組んできたものですので、ぜひ見える形でお願いします。

(会 長) ありがとうございます。いろいろと意見が出ましたので、それを踏まえて来年度の第1回、第2回の会議を構成していくということでお願いします。内容は事務局と正副会長預かりにさせていただければと思います。

4. その他

(1) 立川市教育だより「たち」1面掲載のご紹介

(会 長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局・センター長) 広報たちかわに挟まれております立川市教育だよりたちでございます。中を開かないと見ていただくことができないのは残念なのですが、配布に対する経費削減や皆様に見ていただけるものとなっております。教育だよりは市によってはお子さんのいる家庭にしか配らないところもあるのですが、立川市は広報紙と合わせて全戸配布しております。年3回発行するうちの1回で、一面に「たちかわ市民交流大学を知っていますか？」という内容で特集を組ませていただきました。年3回のうち2回程度は学校教育に関するもので、残り1回に生涯学習、その他を1面にすることがございます。中を開いていただくと他の内容について記載がございます。最後に文化財係が「立川市の歴史と文化財」という記事を毎号載せておりまして、資料館や歴史を知ってもらおうということで学芸員が作成しております。

(2) 国宝「六面石幢」修理、移設事業について ※次第と説明順番が異なります

(事務局・センター長) 前回、歴史民俗資料館を視察していただきまして、展示室に入っただけのところ、石堂がございました。その修理事業を京都で行っております。日本に国宝が1,000程度ございますが、そのうち立川に一つ、普濟寺がございました。多摩地区にある国宝はわずか3市となっております。その貴重な国宝なのですが、総合教育会議という場でご説明した資料となります。総合教育会議というのは、今まで教育委員会で教育事業を進めてきたのですが、他市のいじめの事件をきっかけだったと思いますが、市として教育行政に関わらなくてはならないということで、市長部局、市長も積極的に話し合いに参加していくということで、どこの市も7年前くらい前から開催されるようになりました。1ページ目の②というところで、防災移設事業と保存修理事業がございます。令和元年から令和6年度までの長い期間をかけて行っていくことになるのですが、崖地の上に六面石幢があり、土砂災害警戒区域に指定されたということがありまして、安全な場所に移設して保存を図るとというのが今回の目的です。普濟寺と六面石幢の関係は、1352年に立川氏が鎌倉建長寺より物外可什という禅師さんを招いて開山したお寺となっております。③のスライドのところ、江戸名所図会といたしまして、六角塔があるのですが、江戸の景観や風俗を紹介した、今で言う旅行紹介雑誌みたいなものです。右上には、柴崎村には普濟寺には六面石幢があるということを紹介しています。当時から名所として認識されていたということになります。私も修復作業に入って京都に一度行って、作業を見させていただきました。国宝を専門に扱う業者が丁寧に作業しておりますので時間がとてもかかりますが、令和6年度に立川に戻ってきて子どもたちにたくさん見ていただきたいということで普濟寺さんが調整をして、新たな受け入れ施設も作りました。

(3) 砂川学習館／地域コミュニティ機能複合施設の整備について

(事務局・センター長) この場で詳細にお話するのは初めてかもしれません。建て替えに向けて施設を閉鎖しまして、令和5,6年度に解体と新しい施設を作ってまいります。この施設の名称は仮称となりますが、「砂川学習館／地域コミュニティ機能複合施設」となっておりまして、学習館の機能にプラスして子育て機能とコミュニティ施設ということで複合施設に生まれ変わります。始めに横版の基本計画と書いてあるものをご覧ください。めくって1ページ目に3つの機能というのがございます。一つ目が『生涯学習機能』、二つ目が『子育て支援機能』、三つ目が『地域コミュニティ機能』となっておりまして、多世代交流ができる仕掛けをしてまいりたいと思います。続いて2ページ目、②子育て支援機能は子育てひろばなどの運用や地域交流の促進を行い、継続してまいります。3番目に新しく地域コミュニティ機能が追加されまして、学びと文化、多世代交流による新しい地域コミュニティの形成による地域のにぎわい創出を見据えてコミュニティルームを整備してまいります。子どもから高齢者まで幅広い世代が、気軽に集まり交流を深める場を提供してまいります。地域コミュニティの活性化、多様な地域活動、交流の促進、地域情報の発信、地域活動の啓発ということで、子育て支援機能と地域コミュニティ機能は別の課がリードして事業を展開していくこととなります。3ページ目は整備方針となっておりますので、お読みいただければと思いますが、「生涯学習機能に多世代交流による地域コミュニティ機能を加え、新たなにぎわいの拠点として整備します」としています。例えば、誰もが快適に利用できる、ユニバーサルデザインへの配慮、外観への配慮、環境への配慮、特に太陽光発電設備を市として初めて40キロワットという一般家庭10家庭分くらいの太陽光発電を入れる予定となっております。あと、維持管理上の配慮ができるメンテナンスを実施してまいります。続いて6ページをお開きください。1階の入口すぐのところにコミュニティルームを設けまして、多世代交流を図りたいと思います。一番左の「ひろば室」というのが子育て広場です。事務室というのが砂川学習館の職員が入るところになります。7ページでございます。2階の学習館としての機能となります。今の砂川学習館は地下1階、地上2階建てとなりますが、地下がなくなっても広さは十分に確保できております。駐車場は狭くなりますが、建物面積は機能としては十分かと思っております。この間の砂川学習館の職員は西砂学習館に職員が異動して職務を行います。砂川学習館としての寿教室や地域活性化事業は若干減りますが継続してまいります。学習等供用施設を活用しながら事業を継続しますが、砂川学習館まつりのような大きな事業は中止となります。これが昨年3月の説明会でお伝えした内容でございまして、その後12月に1枚目のものを説明させていただきました。「Ⅰ環境配慮について」は今説明した通りとなります。「Ⅱ砂川の歴史と展示について」でして、行ったことがある方はご存知かもしれませんが、比較的、砂川闘争に特化した展示コーナーがございます。こちらの展示について、1年前の説明会で壁面展示のみにすることをお伝えしたところ、現状を活かすように見直すべきだご意見がございました。その点についてご関心がある方が多く、この間どのように展示していくかを調整してまいりました。昨年12月に一部の実物展示を活かしながらデジタルサイネージを使用して展示を残していく

ことを報告させていただきました。ICT 展示、赤色で示している壁面展示、実物展示スペースというのを設けまして、砂川闘争を含めて歴史を継承していこうというような取組を行ってまいります。「Ⅲその他」のところで、こぶし会館の中規模改修の延期について、砂川学習館の工事と同時に行ってしまうと砂川地域に混乱が起こるだろうということで1年延期する方向という内容でございます。

私からは最後となります。予算案の概要及び主要施策の概要ということで、予算を決める議会で、本日、市長から予算提案をさせていただきました。5つある分野のうち、子ども、教育分野を抽出させていただきました。まずは生涯学習に関わるものから説明させていただきます。(8)の生涯学習社会の実現というところで平和・人権学習事業がございます。平和学習の一環として、中学生を被爆地である広島に派遣する事業として、前々回くらいにご報告させていただきました。今まで1泊2日のタイトな工程でしたので、もう少し施設を見てもらいたいもしくは工程を緩やかにしたいということで、2泊3日に延長させていただきました。③の地域学習館維持管理では、来年度は西砂学習館の中規模改修を行う予定として、砂川学習館の職員が西砂学習館に行くという話をしましたが、十分な広さがございますので、改修工事は実施可能と判断しております。④の第7次生涯学習推進計画策定事業については、来年度はアンケートを実施する予定となっております。⑤の学習等供用施設管理運営は滝ノ上会館の中規模改修工事を学供施設として初めて行います。併せてWi-Fi環境を試行的に2館整備してまいります。少し飛びまして④の歴史・民俗普及活動事業ということで、かなり老朽化して設備も古くなっているため、調湿庫を購入し、原資料の保存環境を整えるとともに、デジタル複製した画像等の資料を表示するために大型モニターを購入して、市民サービスの向上を図ってまいりたいと思います。めくっていただいて⑨に先ほどご説明した砂川学習館・地域コミュニティ機能複合施設整備事業がございます。以上が生涯学習部門の内容となります。

(会 長) ありがとうございます。ご質問等ございますか。

(副会長) 砂川学習館の建替えについては、当初示されたものより市民側の声が活かされていてセンター長がしっかり動いてくれたおかげかと思います。次の建替えや改修工事についても利用者の声を反映していただければと思います。ただ、一つ気になったのは、地域コミュニティ機能は別の課が担当になるということで多世代交流がうまくいくのかという思いがあるのですが、どのような形になるのでしょうか。

(事務局・センター長) 説明が不足してしまいました。担当課は別にいるのですが、そこと連携して行いますので、コミュニティの部分で言えば市民協働課、子育ての部分で言えば子育て推進課となりますので、3課で協力しながら進めてまいります。

(会 長) ありがとうございます。他にいかがでしょうか。(なし)

(4) 菅山委員の退任について

(事務局・管理係長) 今年度をもちまして、菅山委員が一身上の都合により退任されますのでご報告いたします。本日、今年度最後になるので、ご挨拶の上、退任される

ご意向があったのですが、結果として出席できなくなってしまったため、ご挨拶できなかったことに対するお詫びと「一年間大変お世話になりました」というお言葉を預かっております。後任につきましては、学識経験者の枠が2名欠員となっておりますので、補充を検討しておりますが、見通しが立っていない状況にあります。決まり次第、ご報告させていただきます。

(会長) ありがとうございます。なにかございますか。(なし) 任期の折り返しを迎えて欠員2名ということなので、充足していただければと思います。そのほかございますでしょうか。

(E委員) 2月6日に地運協があって、Zoomでやろうということで、社協の職員、児童館の職員、柴田先生が各自でつないで、そのほかの委員さんが幸学習館に集まって、Zoomの練習をしました。

(会長) パソコンはどなたが用意したのですか。

(E委員) 幸学習館で用意しました。私も持って行ったのですが、近すぎてダメだったので途中で止めてしまいました。いつもと違う会議ができて面白かったです。

(会長) ありがとうございます。一度やってみるといろいろわかってくることがありますね。普段対面でやっていて、たまに違った方法でやってみると効率的に進められたりすることもあります。あとは対面だと出席できないけどオンラインなら出席できる委員さんがいるとか、そういうこともあります。

(A委員) 幸学習館で、自治連の栄町支部の理事会をハイブリットで行っているのですが、棚にAIカメラという喋っている人に自動でフォーカスするものが置いてありますので、よろしければご活用ください。

(副会長) どの学習館にも置いてあるのですか。

(A委員) いいえ、自治連栄町支部が東京都の助成金で購入したものになります。

(会長) 他にございますか。

(F委員) 砂川の歴史と文化のところで、入ってすぐ左側のところに砂川の歴史があって、よく見ていたのですが、展示の内容はどのように決めていくのでしょうか。展示について、一部の方からご意見があったようで、砂川闘争についてはいろいろな考え方があって、地元民でも考え方が違うので、デジタルサイネージの資料なんかはどのように決めていくのか教えていただければと思います。

(事務局・センター長) 当時、立川市役所が移転して、砂川支所が廃止になるのに合わせてこのコーナーを作ったのですが、どちらかというと、砂川闘争に特化したような内容でございました。今回は砂川闘争を含めて砂川全体の歴史について作り直すという観点で、デジタルサイネージの技術を使いながら網羅的に展示していこうというところです。資料に書いてありますが、「玉川上水」「五日市街道」「砂川町役場」「砂川闘争」などの資料についても歴史民俗資料館には多くありますので、それを写真にしてキャプションをつけて、テーマごとに見ていただこうと思っております。何を現物展示で、何をデジタルサイネージにするかは住民の方のご意見も聞きながら、行政として偏りなく考えていければと思います。

(F委員) ありがとうございます。市史編纂のチームが砂川地区に入られていまして、砂川田んぼの写真なんかを収集されたそうなので、そういった資料も使用していた

だけるとありがたいなと思います。

(事務局・センター長) 市史編纂の方とも協力しながら進めていきたいと思います。

(副会長) 昔は砂川村役場があったところで、「ここに砂川村役場がありました」のような表記があっただけかと思いますが、いかがでしょうか。

(事務局・センター長) 現時点で具体的な検討は行っていませんが、検討の余地はあるかと思いますが。例えば、西砂学習館には石碑があります。分校跡地に関するものだったと思いますが、そういったモニュメントの設置は検討の余地があります。

(会 長) 他にはいかがでしょうか。

(A委員) 自治会連合会でごみ研修を毎年行っていました。桧原村の最終処分地や晴海のリサイクルセンターにバスで行ってというのを3年ぶりに行って、「たちむにい」という新清掃工場に行ってきました。昭和記念公園の西側にあって、中はバタバタしていましたが、ゴールデンウィーク以降に一般の方の見学を受け付けるというお話でした。その後に八王子の館クリーンセンターという高尾駅のすぐそばにあるところで、展示内容が子ども向けだったのですが、大人も楽しい内容で、予約もいらず一般開放していて、見せ方がとても上手でした。立川市との差を感じたところです。若葉町の清掃工場は閉鎖していて、今後若葉町の方はどのように土地や建物を活用していくのかというのは不安があります。

(事務局・センター長) 若葉町の方は特に高齢化が進んでいる地域でもあります。さまざまな地元の方の声があるというお話は聞いています。高さがあるので清掃工場の解体には時間がかかるかと思いますが。若葉小跡地活用の方は民間事業者の提案を受けているところだったかと思いますが。

(会 長) 他にはよろしいでしょうか。(なし) それでは、第7回生涯学習推進審議会を終わりたいと思います。ありがとうございました。